

エレミヤの召命

(エレミヤ1・4～12)

一、召命と選び

「召命」と関係している」とばがありまます。それは「選び」です。「選び」は、神の「計画と密接な関係にあります。また「召命」とも関係があります。例えば、アブラ(ハ)ムが召されたという箇所です。創世記12章1節より3節です。

「主はアブラムに言わされた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行なさい。(略)」アブラ(ハ)ムは神のご計画によつて選ばれ、主から声をかけられました。すなわち、召命されました。

あるいは、十二人の弟子たちは使徒として選ばれたと書かれています。ルカの福音書6章12節、13節です。(略)夜が明けると弟子たちを呼び寄せ、その中から十一人を選び、彼らに使徒という名をお与えになつた」とあります。イエスさまを裏切ったイスカリオテのユダも選ばれていたのでしょうか。その通りです。ユダは、イエスさまを裏切るために選ばれたのでありません。ですがユダは、自分の意志でイエスさまを裏切り、悪魔が望むことをしてしまいました。

では、私たちキリストを信じる者は、どうでしょうか。そのことをもつとも端的に語つてているのが、エペソ人への手紙1章4節です。「すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方にあつて私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとしたのです」とあります。今現在、主イエス・キリストを信じている人は、神が主イエス・キリストにあつて選ばれた人たちです。と

いうことは、ある人がイエスさまを信じたとします。その場合「○○兄が、○○姉自身が選ばれたから、イエス・キリストを信じることができた」と考えない方が、まちがいに墮まりにくいです。キリストを信じている人は、イエス・キリストのうちにあつて、世界の基が据えられる前から選ばれているのです。では個人、ないしは特定の人たちの選びはあるのでしょうか。あると言えます。アブラ(ハ)ムとその子孫であるイスラエルがそうであり、十二使徒がそうであり、パウロがそうです。

知り、あなたが母の胎を出る前からあなたを聖別し、國々への預言者と定めていた。」とあります。

それでは、神は私共すべての人にも、「何々になるよう」との選び、ないしは「計画」というものがあるのでしょうか。こればかりは、私には分かりません。ただ私は、自分がやりたいことにチャレンジするのが良いと考えています。

三、エレミヤの召命と人生

エレミヤが主の預言者として選ばれた時代はたいへんな時代でした。(列王記第二22章、歴代誌第一34章を参照)。時の南王国ユダの王、ヨシヤの治世第13年に、エレミヤは主の預言者として召されました。その5年後の、ヨシヤ王の治世第18年のこと、王の指示で神殿の修復が行われていたとき、「律法の書」が発見されました。ヨシヤ王は深く悔い改めて、宗教改革を始めました。それは画期的な出来事でしたが、要はそれまで、王を始め南王国の祭司たちは「律法の書」を——これは今日の申命記の原形になつた書であつたと考えられます——知らなかつたというのが衝撃的です。南王国の歴代の王たちが目指していたのは、近隣諸国との貿易による國の発展でした。結果、偶像礼拝が盛んになりました。そういう状況だったの

つてよいか分かりません」と。すると、主はエレミヤに語られました。7節、8節です。「主は私に言われた。「まだ若い、と言つた。わたしがあなたを遣わすに命じるすべてのことを語れ(略)」と。そして主は何をなさつたでしょうか。

9節、10節です。(略)主は御手を伸ばし、私の口に触れられた。(略)「見よ、わたしは、わたしのことばをあなたの口に与えた。見なさい。わたしは今日、あなたを諸國の民と王国の上に任命する(略)」と。預言者の務めは、主の御意思を語ることです。主の御意思を取り次ぐためには、ことばと意思が聖別される必要があります。エレミヤはこうして聖別されました。

かのパウロでも、復活のイエス・キリストに出会つた後、主の弟子アナニアアリに次のように祈られました。使徒の働き9章17節です。(略)兄弟サウロ。あなたが来る途中であなたに現れた主イエスが、私を遣わされました。あなたが再び見えるようになり、聖霊に満たされるためです」と。

私共キリストを信じる者とエレミヤとは、必ずしも一致しませんが、重なるところも多くあります。キリスト者すなわちキリストに似る者とされた私共は、聖霊の恵みによつて、神の御意思に生かされ、神の御意思に従う者とされようではありませんか。

あなたを胎内に形造る前からあなたを